

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

安曇野市教育委員会学校教育課
教育指導室

「令和6年度全国学力・学習状況調査」が4月18日に行われ、市内小中学校全17校で実施しました。その結果が7月29日に公表されましたので、その概要を報告します。

今後は、安曇野市教育委員会として教育施策や教育活動に役立てるため、市校長会と協働して組織した学力向上推進委員会にて結果の詳しい分析・考察を行ってまいります。

調査の概要

- 調査の名称 令和6年度全国学力・学習状況調査
- 実施日 令和6年4月18日（木）
- 実施学年 小学校6年生（10校、708人）、中学校3年生（7校、673人）
- 調査の内容
 - ①教科に関する調査
 - ・小学校…国語、算数（2教科）
 - ・中学校…国語、数学（2教科）
 - ②学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問調査

各教科の学力状況

●傾向と課題

各教科の全体の平均正答率をみると、中学校では全教科が全国や県を少し上回るから上回るという結果で、小学校は県や全国を少し下回るから下回るという結果でした。

具体的には、小学校の国語は全国、県を少し下回り、算数は全国を下回り、県を少し下回りました。中学校の国語は全国と県を上回り、数学は全国を少し上回り、県を上回るという結果でした。

正答数の分布を詳しくみると、小学校では、国語は正答数の山が全国や県に比べ1問少ないところにあり、上位層がやや薄い状況です。また、算数では下位層がやや厚い状況です。中学校では、国語は正答数の山が全国や県比べ2問多いところにあり、数学では中位層が厚い状況です。

内容や領域面からみると、小学校では国語の「我が国の言語文化に関する事項」は良好な結果ですが、全体的に課題があり、特に、国語の「話すこと・聞くこと」や算数の「変化と関係」には大きな課題があり、改善していく必要があることが分かります。中学校は全体的に良好な状況で、国語の「書くこと」は、特に良好な状況にあることが分かります。しかし、

数学の「図形」は更に力をつけていく必要があることが分かります。

なお、現在の中学生の結果を小学校6年時の結果と比較すると、国語、算数ともに良好にあった状況から更に力を伸ばしていることが分かります。

【全国や長野県との平均正答率の比較】

【小学校 国語】

内 容	全国との比較	県との比較
国語全体	▽	▽
言葉の特徴や使い方に関する事項	▽▽	▽
情報の扱い方に関する事項	○	○
我が国の言語文化に関する事項	☆☆	☆
話すこと・聞くこと	▽▽▽	▽▽
書くこと	▽	○
読むこと	○	○

【小学校 算数】

内 容	全国との比較	県との比較
算数全体	▽▽	▽
数と計算	▽▽	▽▽
図形	○	○
変化と関係	▽▽▽	▽▽
データの活用	▽	○

【中学校 国語】

内 容	全国との比較	県との比較
国語全体	☆☆	☆☆
言葉の特徴や使い方に関する事項	☆☆	☆☆
情報の扱い方に関する事項	☆	☆
我が国の言語文化に関する事項	☆☆☆	☆☆
話すこと・聞くこと	☆	☆
書くこと	☆☆☆	☆☆☆
読むこと	☆☆	☆☆

【中学校 数学】

内 容	全国との比較	県との比較
数学全体	☆	☆☆
数と式	☆	☆☆
図形	○	☆
関数	☆☆☆	☆☆☆
データの活用	☆☆	☆☆

※ 表中の記号の表す内容（正答率に対して）

☆☆☆…大きく上回っている（+4.0～）	☆☆…上回っている（+2.0～+3.9）
☆…少し上回っている（+1.0～+1.9）	○…ほぼ同じ（±0.1～±0.9）
▽…少し下回っている（-1.0～-1.9）	▽▽…下回っている（-2.0～-3.9）
▽▽▽…大きく下回っている（-4.0～）	

【小学校の傾向と課題】

国語では、「情報の扱い方に関する事項」「読むこと」の領域については、全国とほぼ同じ結果になりました。また、「我が国の言語文化に関する事項」に領域については、全国を上回る結果となりました。特に、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」設問【3】三は、全国を上回り、無解答率は全国平均を下回っています。心に残ったところとその理由を、物語から言葉や文を取り上げながら書くことができるようになってきていることが分かります。

一方、「話すこと・聞くこと」については全国を大きく下回り、特に、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」設問【1】二(2)は、それが顕著に表れた結果となりました。文章には発信者の目的や意図が含まれていることを読み取ったり情報の整理・分析やまとめ・表現の学習を充実させたりしていく必要があります。

算数では、平均正答率は全国を下回り、県を少し下回る結果となりました。正答数分布の傾向は全国や県とほぼ同様ですが、やや下位層が厚くなっています。

領域別で見えていくと「図形」は、全国、県とほぼ同じ結果でした。「数と計算」は、全国、県を下回り、「変化と関係」は、全国を大きく下回り、県を下回っています。また、「データの活用」は、全国を下回り、県とほぼ同じ結果でした。

設問別に見えていくと、「問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察する」設問【2】(1)【2】(2)、「異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する」設問【4】(2)は、全国を大きく下回っており、数量の関係を捉え、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする活動を一層充実させていく必要があります。

【中学校の傾向と課題】

国語では、全ての領域で全国と県を少し上回る～大きく上回る結果となりました。特に、「書くこと」の領域においては、全国と県を大きく上回る結果となりました。「我が国の伝統文化に関する事項」の領域においても、全国を大きく上回り、県も上回る結果となりました。また、問題形式では、選択式、短答式は全国・県を上回り、記述式は全国と県を大きく上回っています。

【3】四「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する」設問では、全国と県を大きく上回りました。記述式の各設問で平均を上回っていることから、記述する条件を捉える力、条件に沿って適切に答える力が昨年度に引き続き定着している学年であることがうかがえます。

一方で、【1】三「意見と根拠など情報と情報との関係」についての設問は、全国・県とほぼ同じ正答率にとどまっており、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることを、更に伸ばしていけるとよいこと分かりました。他の領域と関連を図りながら、自分が理解したことや考えたことを説明したり、互いの考えを伝えたりする言語活動を行うことが必要です。

数学では、すべての領域で県の平均正答率を少し上回る～大きく上回り、「数と式」「関数」「データの活用」では全国の平均正答率を少し上回る～大きく上回る結果となりました。

【8】(3)「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる」設問では、全国と県を大きく上回りました。また、無解答率も全国と県を下回っており、グラフと日常生活を関連付け、グラフの意味を読み取る力がついていることが分かります。

一方で、【1】「連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」設問では、県の平均正答率を少し上回っていますが、全国の平均正答率を下回りました。数を文字を用いて表し、数の性質を説明することに課題があります。文字を用いて説明することの必要性や有用性を実感できる学習活動を充実させていく必要があります。

児童生徒質問項目の回答から見た生活の諸側面や学習状況等

●傾向と課題

小学校・中学校ともに、学習状況や生活の諸側面に関わる児童生徒質問項目の多くは、肯定的な回答した割合が全国や県の平均を上回っており、安曇野市の子どもたちの良さがうかがえます。

生活面では、過去の調査結果と同様に「朝食を毎日食べている」や「起床・就寝時刻が一定している」という回答が多いことから、ほとんどの児童生徒が規則正しい生活を送っていることが分かります。全国的に心配されている「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマート

フォンを使ったゲームも含む)をしますか」や「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」についてでは、全国や県よりも短い時間を回答している児童生徒が割合が多く、経年推移も短い時間を回答している割合が多くなってきていますので、良い傾向にあると言えます。

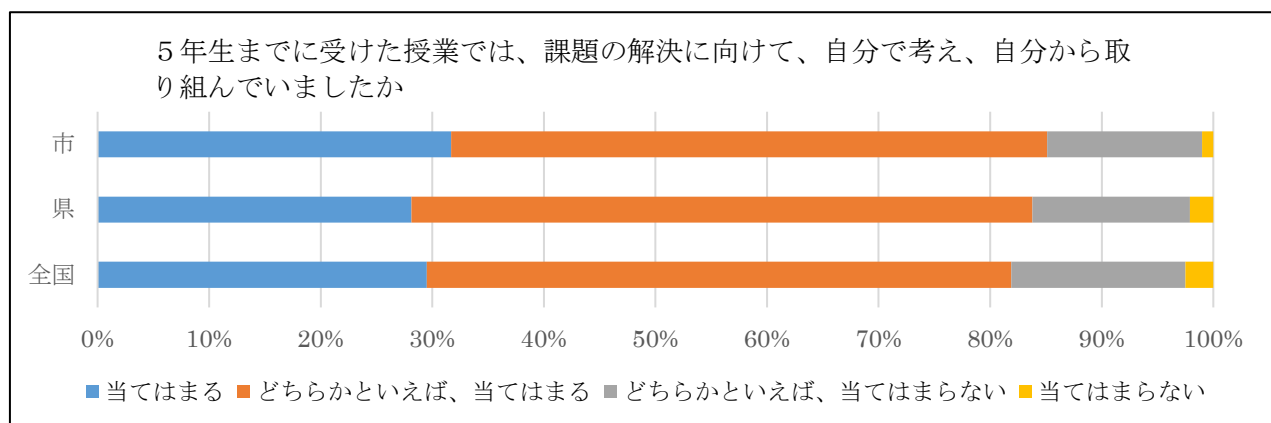
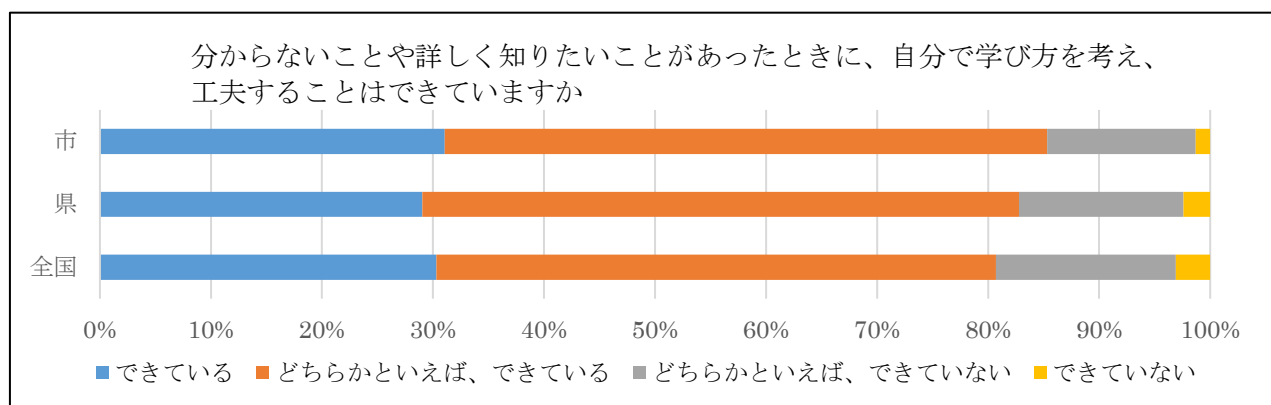
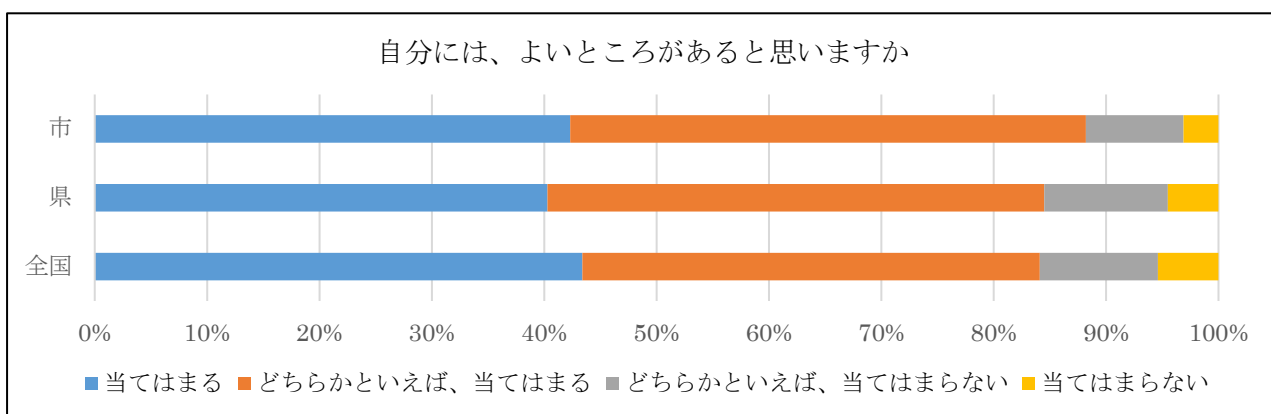
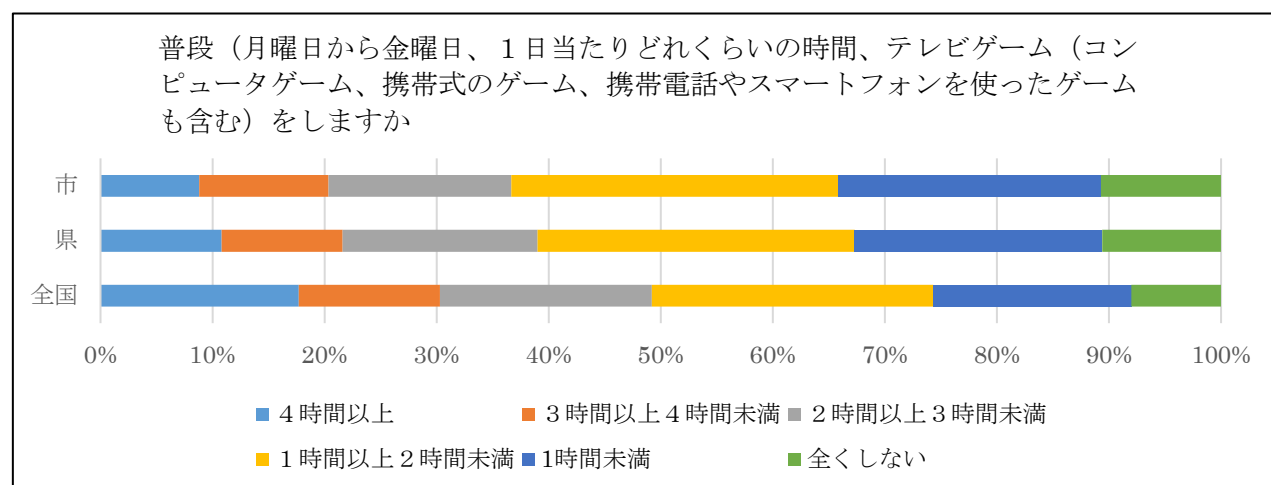
また、「人が困っているときは、進んで助けますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対しては90%以上、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」にも80%以上の児童生徒が肯定的な答えをしており、地域や社会貢献に対する意識の高さが分かります。

さらに、小学生の「自分には、よいところがあると思いますか」(88.2%)や中学生の「将来の夢や目標を持っていますか」(70.8%)「友達関係に満足していますか」(91.1%)などに対する肯定的な回答も全国や県に比べて多く、自己有用感や幸福感等が高いことも安曇野市の児童生徒の特徴となっています。

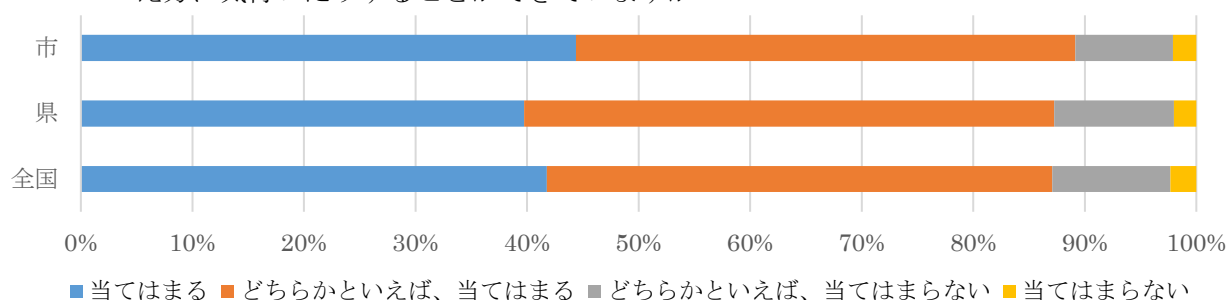
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取り組み状況についての質問では、「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」に対しては70%近くの児童生徒が肯定的な回答をしています。また、「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」などに対する肯定的な回答も80%を超えており、全国や県に比べ多く、主体的に学び合う児童生徒が育っていることが分かります。

一方で心配される面としては、全国的な報告でも課題とされている「家庭学習時間が短くなってきていること」が挙げられます。「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」に対しての回答では、全国に比べ短い時間を回答している児童生徒の割合が多くなっていきます。安曇野市では小学生は「30分以上、1時間より少ない」が36.9%で最も多く、中学生は「1時間以上、2時間より少ない」が44.7%で最も多くなっていきます。休日の学習時間については、全国や県に比べて短い時間を回答している児童生徒の割合は多くはありませんが、経年推移ではやはり短い時間を回答する児童生徒の割合が増える傾向にあります。

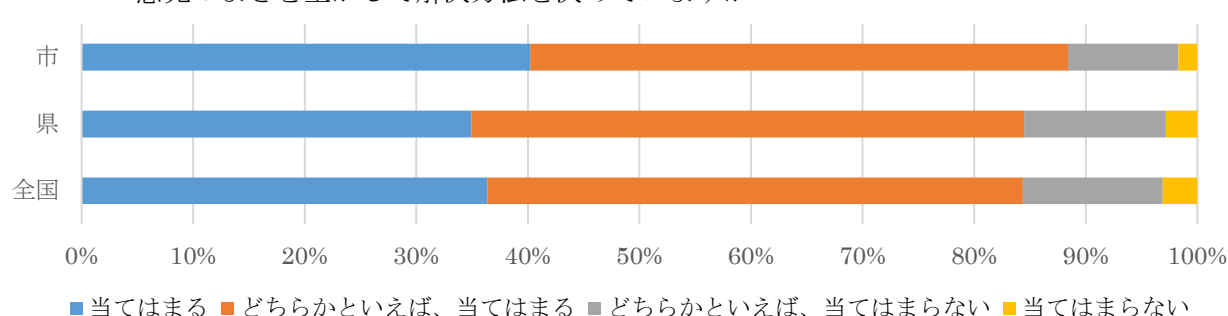
【市の児童の良さが分かる代表的な質問のグラフ】



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

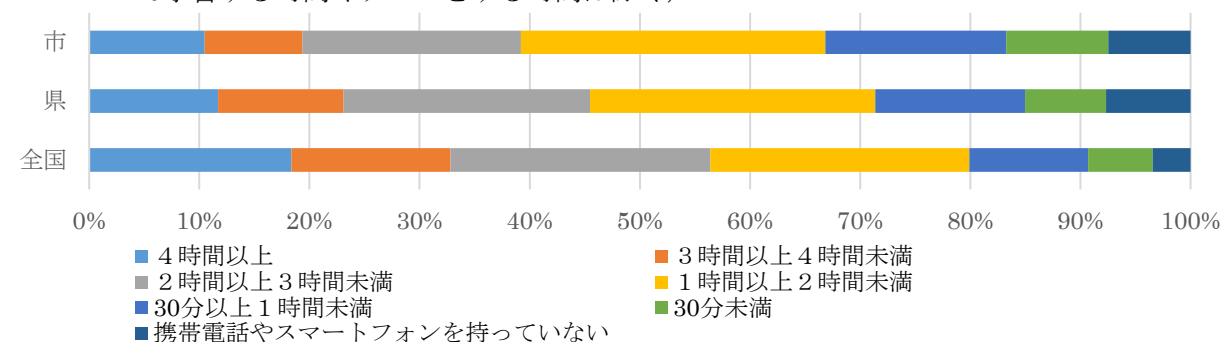


あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

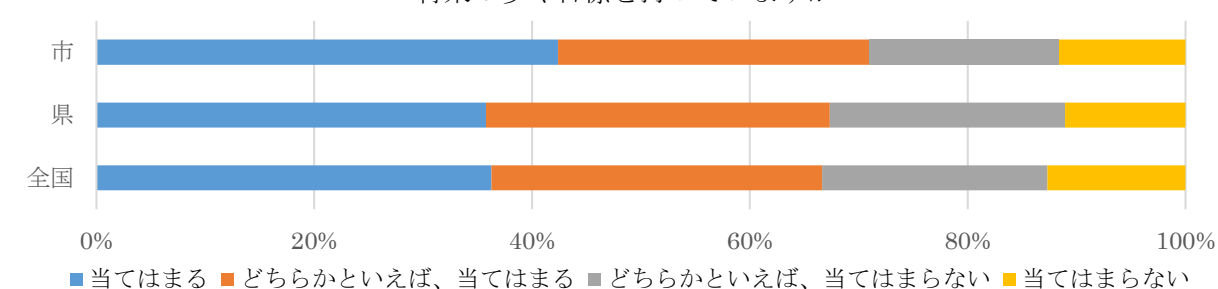


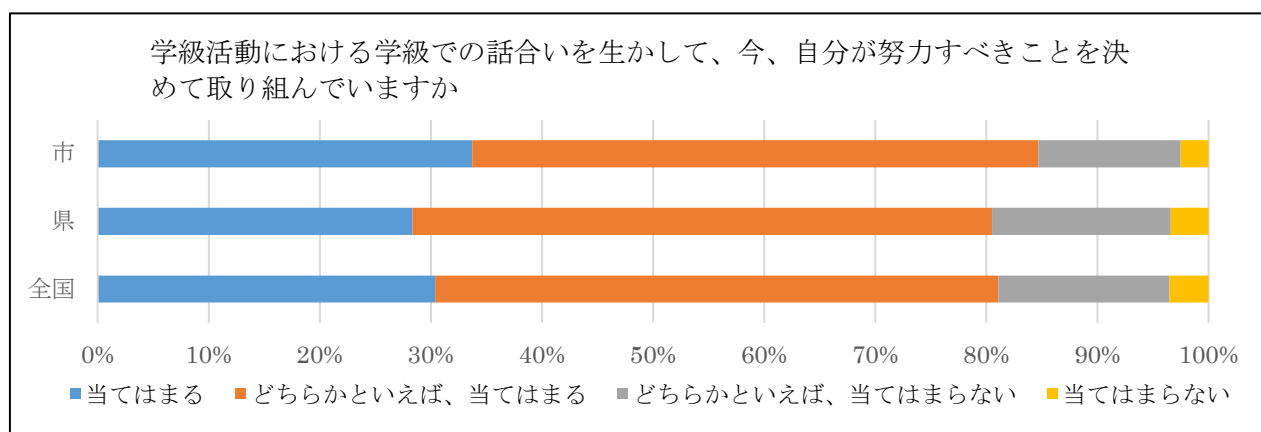
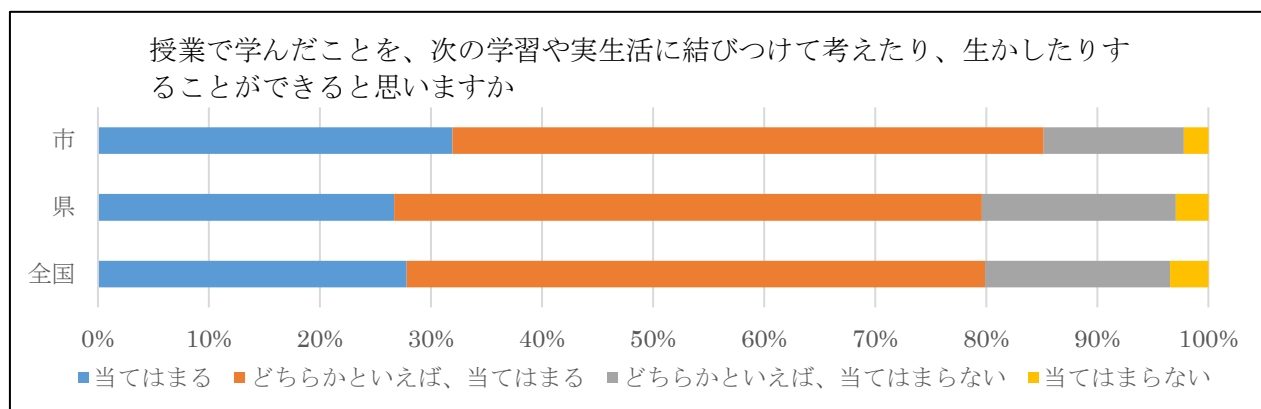
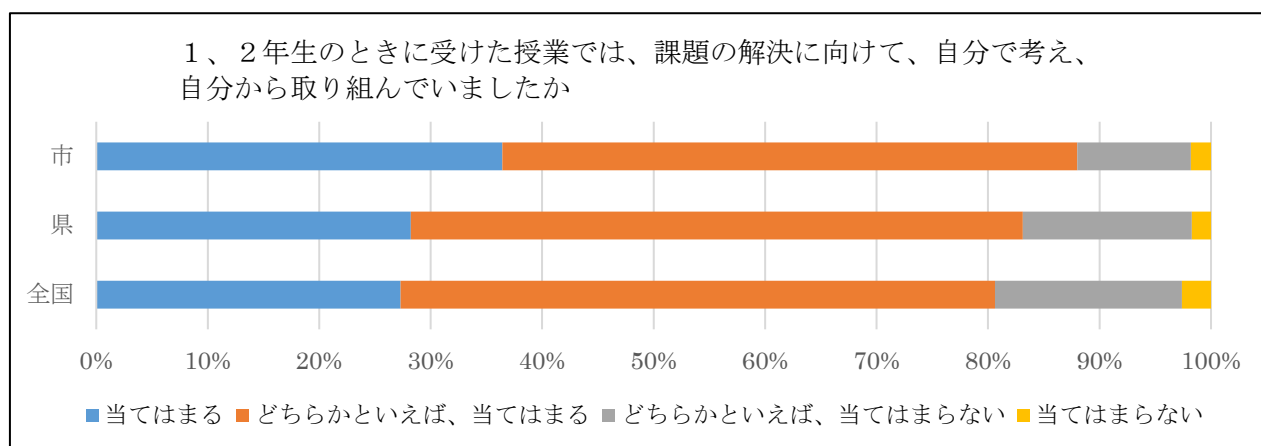
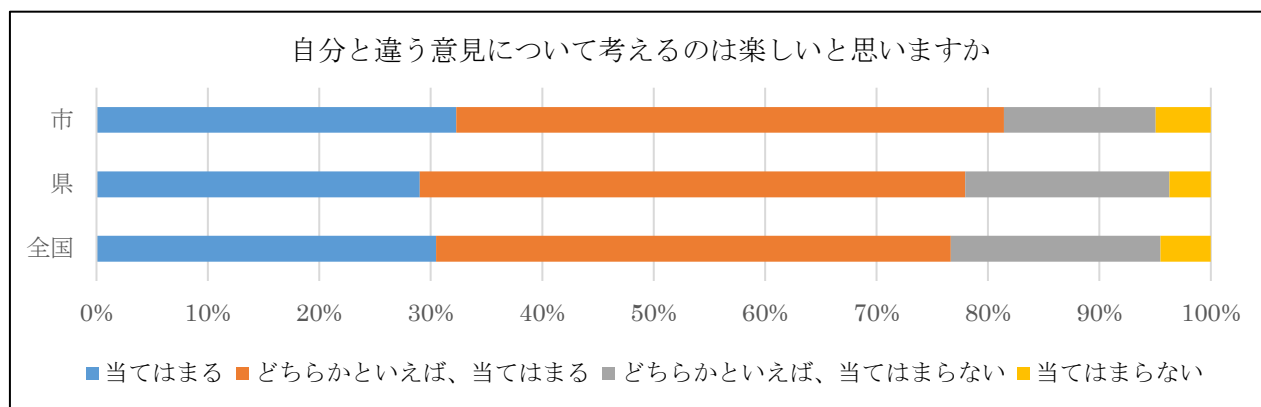
【市の生徒の良さが分かる代表的な質問のグラフ】

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



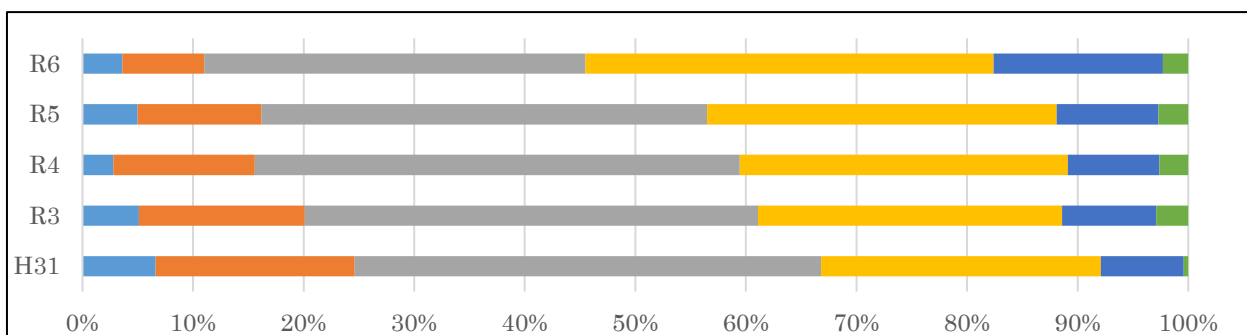
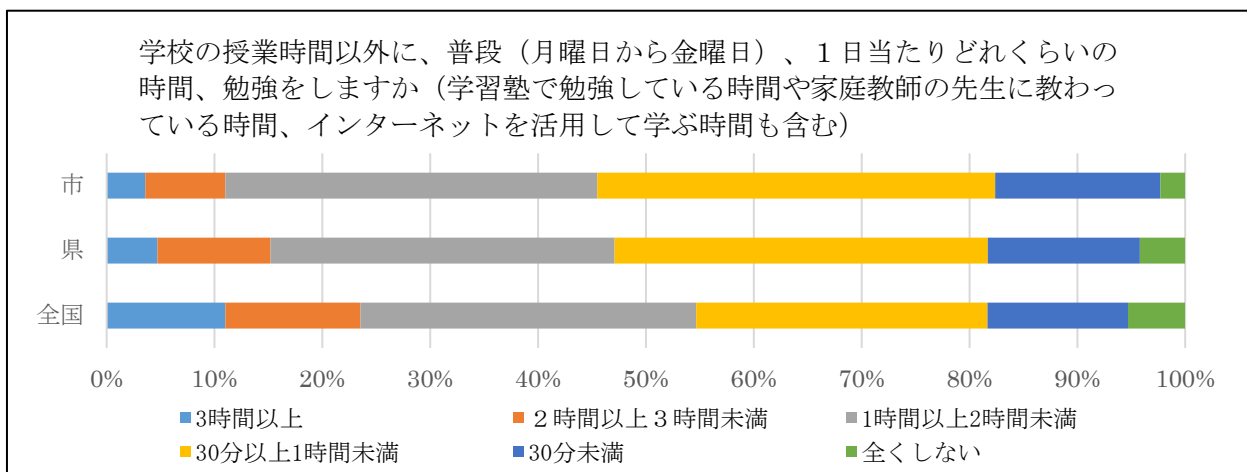
将来の夢や目標を持っていますか



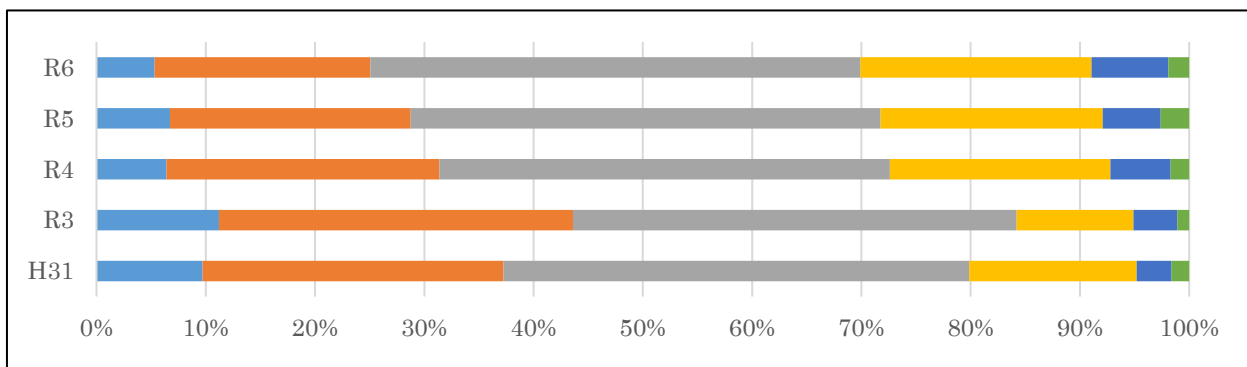
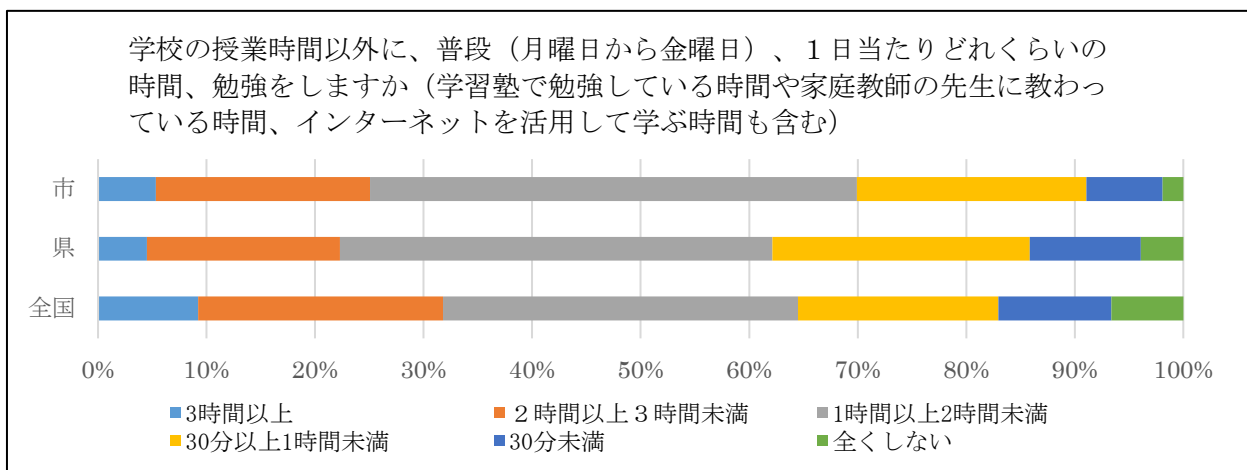


【市の児童生徒の家庭学習時間のグラフ】

○小学生



○中学生



比較的正答率が高い傾向にある子どもの学習や生活の様子

学力調査結果と学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問調査結果のクロス集計を分析すると、次に示す項目において、より肯定的な回答をしたり特定の回答をしたりしている児童生徒の正答率が比較的高い傾向がみられました。

【共通】

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

※小学校…より短い時間の回答している児童

※中学校…「30分以上1時間より少ない」と回答をしている生徒

◇普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

※小学校…1時間より少ない回答をしている児童

※中学校…2時間より少ない回答をしている生徒

◇普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

※小学校…より短い時間を回答している児童

※中学校…1時間より少ない回答をしている生徒

◇自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

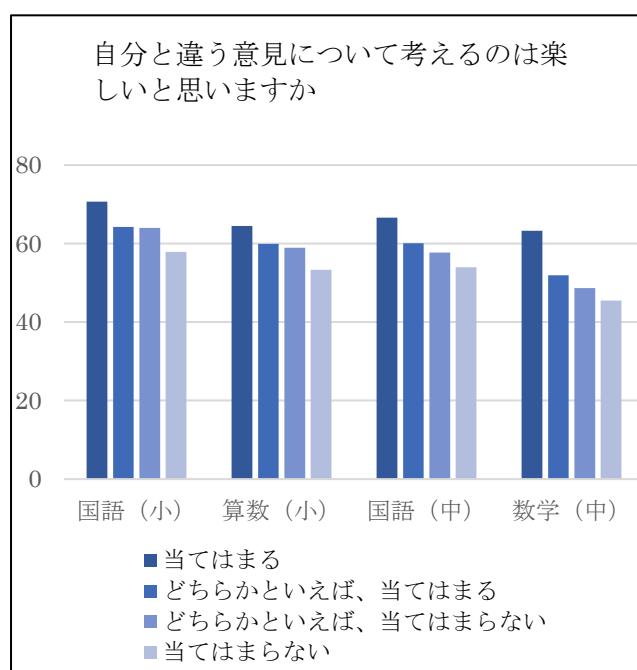
◇分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

※小学校…「1時間以上、2時間より少ない」と回答している児童

※中学校…より長い時間を回答している生徒

◇土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強



をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

※小学校…「2時間以上、3時間より少ない」と回答している児童

※中学校…2時間以上の時間を回答している生徒

◇5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

※小学校…「週1回以上」と回答している児童

※中学校…「ほぼ毎日」と回答している生徒

◇5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

◇5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

◇5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

◇学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとおもいますか

◇先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

◇授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

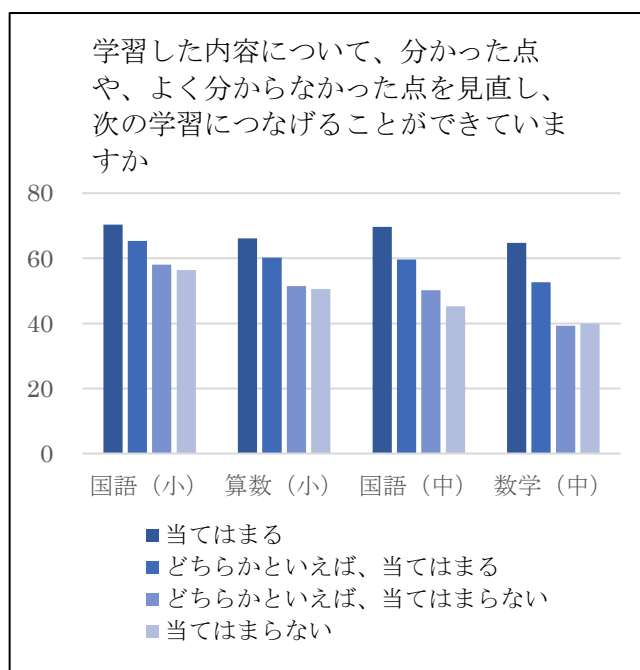
◇国語の授業の内容はよく分かりますか

◇国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

◇算数〔数学〕の勉強は好きですか

◇算数〔数学〕の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

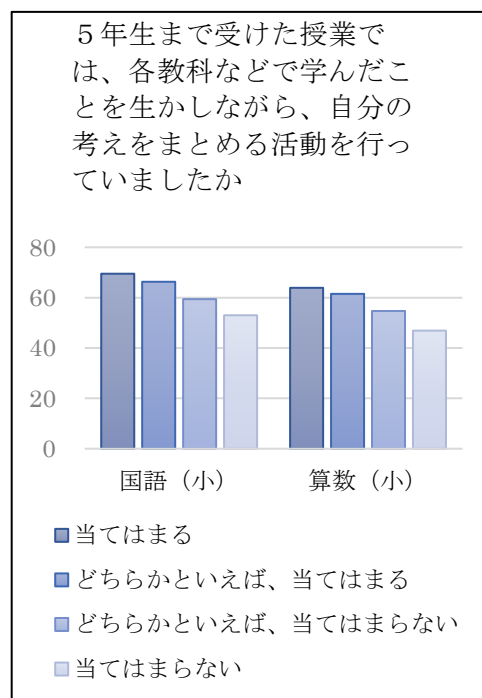
◇算数〔数学〕の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか



- ◇算数〔数学〕の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか
- ◇今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
- ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えている児童生徒
- ◇今回の算数〔数学〕の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
- ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えている児童生徒

【小学校】

- ◇朝食を毎日食べていますか
- ◇毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- ◇いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ◇普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- ※より高い頻度の回答している児童
- ◇新聞を読んでいますか
- ※より高い頻度の回答している児童
- ◇5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
- ◇5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。
- （2）分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
- ◇5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。（6）友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
- ◇5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていました
- ◇学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- ◇国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか
- ◇国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けた



り結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか

◇国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか

◇算数の勉強は大切だと思いますか

◇算数の授業の内容はよく分かりますか

◇算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

◇自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか

◇英語の勉強は大切だと思いますか

◇英語の授業の内容はよく分かりますか

【中学校】

◇学校に行くのは楽しいと思いますか

◇国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか

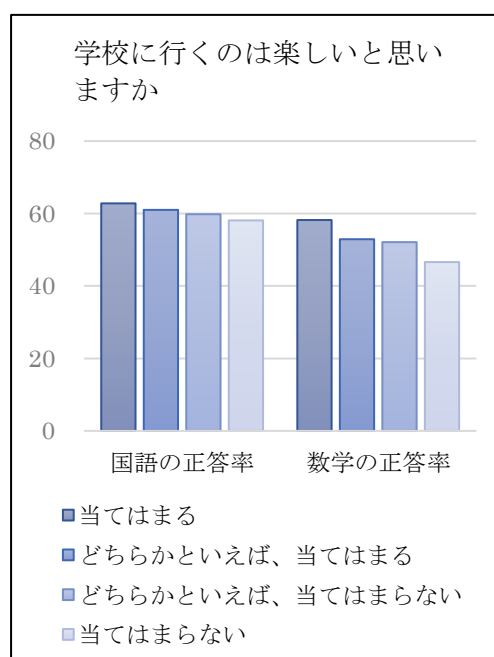
◇国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか

◇国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか

◇国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか

◇1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

◇1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



調査の今後の活用

市教育委員会と各校は、調査を通して把握した児童生徒の実態を教育施策や教育活動に役立てていくために、関係機関と連携しながら次のような取組を行います。

市教育委員会は、

(1) 全国学力・学習状況調査の分析から見えてくる児童生徒や学校の良さや課題を、日々の教育活動に活かせるように支援していきます。

①国や県の動向を注視し、今日求められる学力とそれに対する学び方や指導・支援のあり方についての方向性を示します。(学力向上推進委員会など)

②調査教科の市全体の「課題と具体的な改善の方向」を示し、授業改善に向けた提案をします。(学力向上推進委員会)

②学校の願いに応じながら、教育指導室の学校訪問等で日々の授業改善を支援します。

(2) 授業や学校生活、家庭学習などにみられる教育課題に対応していくために、市校長会や市教育会と連携して、調査・研究を行ったり、小中学校間の教職員の研修などを推進したりしていきます。

①各校で開催される授業研究会や研修会に他校からも参加できるようにし、月ごとの公開授業・研修会を、各校の協力を得て市内小中学校に発信していきます。

②各校の優れた実践を市内小中学校に紹介していきます。

(3) P C・タブレットなどの I C T機器を活用した授業や家庭学習での効果的な利用方法等について、教職員の研修を推進したり各校の取組を支援するとともに優れた実践を紹介したりしていきます。

(4) 探究的な学びの推進が図れるように、総合的な学習の時間の充実に向け地域教材の活用について情報を発信していきます。

各校は、

(1) 自校の傾向や課題を把握・分析し、指導内容や指導方法の改善に活かすようにしていきます。そのために、以下の点に配慮します。

①明らかに課題があるまたは伸びている領域の問題を分析する。

②正答数が低い(0～2問程度)児童・生徒の課題等を分析する。

③当該学年、当該教科だけの課題にするのではなく、hyper-QU や CRT などの検査等と関連付けて分析し、全校の授業改善に活かせるようにする。

④分析結果から、必要な補充・補完を計画し実施する。

(2) 「児童(生徒)質問紙」や「学校質問紙」から見えてくる良さや課題を、日々の指導や教育活動に活かしていきます。

(3) 児童生徒が、授業や学校生活、家庭学習などについて自分の課題を知り、自ら改善していくことができるように、一人ひとりの児童生徒とその家庭へ具体的な指導・助言や支援を行っていきます。

(4) 学校での学習や生活の基本的な習慣を形成するとともに一定時間の家庭学習の定着や内容充実のために、市教育委員会や各家庭と連携をしながら取り組んでいきます。また、様々な機会を通して各家庭に協力を呼びかけたり、支援をしたりしていきます。

(5) 教育委員会と連携しながら、P C・タブレットなどの I C T機器を活用した授業や家庭学習での効果的な利用に努めます。その際は、メディアリテラシーにも十分配慮しながら進めます。